

ドローンによる

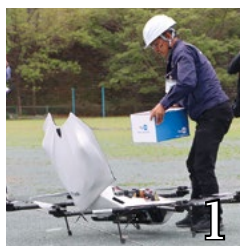
医薬品の定期配送が始まりました

町は、令和6年6月からドローンを活用した新スマート物流の社会実装を目指した取り組みを3年間の計画で行っています。

医薬品卸売業のアルフレッサ株式会社が、ドローン事業を手がける株式会社エアロネクストおよび株式会社NEXT DELIVERYの提供するサービスを利用し、本町のドローン事業を活用して医療機関への医薬品ドローン定期配送を4月22日から開始しました。

この取り組みは、平常時からの運用を通じて、災害時にもスムーズな対応が可能となるような物流体制の構築を目指しています。

ドローンによる配送区間は、物流拠点の旧中川根南部小学校から「まつおか薬局」(徳山)までの約7.1km。週に一度、医薬品をアルフレッサ株式会社静岡物流センター(藤枝市)から陸路で物流拠点まで運搬後、ドローンに積み替えて大井川上空を中心とした経路でまつおか薬局まで運びます。



1_SkyHub® スタッフが物流拠点で医薬品をドローンに積み込む/2_医薬品を乗せたドローンが飛び立つ/3_まつおか薬局駐車場へ輸送完了

医薬品定期配送の流れ



新スマート物流とは

令和6年6月から、旧中川根南部小学校を拠点に、ドローンや陸路での輸送による買い物代行サービス、フードデリバリーサービスを実施しています。今回の医薬品定期配送は、この輸送サービスを活用して行われます。

本町は災害などによって道路が寸断されると、一部地域が孤立し、医薬品の調達が困難になることが予想されます。そのような状況において、ドローンを活用した医薬品の配送は必ず役に立つと思います。

そのためには、日頃から運用を重ね、改善点を検討しながら進めていくことが重要です。

現時点では医薬品の配送先はまつおか薬局のみとなっていますが、山間に住んでいても安心して暮らせる環境を構築するために、今後も配送先の医療機関が増えていくことを期待しています。



まつおか薬局
松岡 政臣 代表取締役